

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

① 国際理解

- ・ 5、6年生だけではなく、1年生から4年生もALTを活用し、各学年年間2時間程度、外国文化に触れる機会を設定した。
- ・ 世界的な課題に関わる新聞記事の掲示コーナーをつくった。
- ・ 葉書によるモザイクアートのギネス世界記録に挑戦し、認定された。世界のギネス記録についても関心をもって調べることができた。
- ・ ユニセフ集会を児童会が中心になって開き、世界の子どもの生活を知る機会となり募金活動を盛り上げた。

② 世界遺産

- ・ 2016年が「国際豆年」であることとユネスコ文化遺産となった「和食」とを絡めて豆料理について3年生が総合的な学習の時間をつかって学びを深めた。豆腐作りは、全員が体験した。

③ 平和・人権

- ・ 6年生が昭和館に社会科見学で行ったり、「原爆先生」を呼んだりして戦争と平和について学んだ。
- ・ 社会福祉協議会と連携して「ひとときの和」（身体障害、視覚障害、聴覚障害についての理解とその障がい者との交流、点字・手話・車いす体験、福祉関係機器の紹介）を実施。前後に障害、障がい者、バリアフリー、パラリンピック等課題を決めて総合的な学習の時間で学びを広げ、深めた。

④ 環境

- ・ 省エネ対策についての学ぶなかで4年生がゴーヤでグリーンカーテンをつくったり、電気や水道の無駄遣いについて調査し、対策を考え省エネを実践したりした。家庭で出すゴミ、地域のゴミ集積場について調べたり、エコプラザの見学をしたりしてゴミ問題についても学んだ。

⑤ 防災

- ・ 地域安全マップを交通事故、防犯の視点だけではなく、防災の視点からも作成した。
- ・ 避難訓練は、「自分で自分の身を守れる力」を育てるという視点から地震や火事、不審者対応の基礎についての講話を行うと共に、教師の指示がない訓練の機会を意図的計画的に設定した。

⑤ 食育

- ・ 野菜、芋類、豆、落花生、米の栽培、収穫、調理を行ったりした。校地内で採れる筍で料理をしたり、竹にパン種をまいて焼いて食べたり、竹で箸やお椀を作り実際に食器にして使ったりした。
- ・ 栄養教諭を招いて1・2年が栄養について、正しい食生活について学んだ。

⑥ 伝統文化

- ・ 地域の専門家を招いて校地内の竹で花器を作り、校地内に生えてる植物を使った華道体験をしたり、本格的な茶室をつくっていただき、着物姿の先生からお抹茶をいただくなど茶道の体験を行ったりした。
- ・ 栽培した稲藁を使った注連縄づくりを行い、農閑期の収入源としての役割、また新年を迎える行事についても学びを広げた。
- ・ 地域のお年寄りを招いて七輪体験を行った。火消しつぼの知恵も学んだ。
- ・ どんど焼きを行い、その行事の意味を知り、伝統行事を体験できた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）

時間外活動の時間を使用

ユネスコクラブの活動として実施

その他（）